

考査の注意事項

教務部

1. スマートフォン、ウェアラブル端末等は電源を切ってカバンにしまう。腕時計以外は身につけてはならない。
2. 机の中を空にして、落書きは消しておく。机の上は筆記用具のみ。
3. カバンは閉じて、イスの下に置く。
4. イスの背もたれには何もかけない。上着等はコート掛けにかける。
5. ひざ掛けは使用できない。保温のために上着を着る場合は考査監督に申し出ること。
6. 問題用紙、解答用紙が配布されたら、氏名、出席番号のみを記入し問題用紙の上に解答用紙を裏にして重ね、開始の合図を待つ。
7. トイレ等で途中退席した場合は教室に戻り考査を続ける。

・スマートフォンはポケットや机の中に入れていなくても不正行為となる場合がある。

・机の中は空になっているかを校時ごとに必ず手を入れて確認すること。

定期考査・実力考査 受験時の注意

教務部

【受験準備】

- ・ **スマートフォンは電源を切ってカバンの中に入れること。**考査時間中に着信音やアラーム、振動音が鳴った場合も不正行為となる場合があるので、必ず確認すること。
- ・ **机の中を空にし、机の上に落書きがないか確認する。**筆入れ等は、カバンの中に入れ、**机の上は筆記用具のみ**とする。ティッシュを出す必要がある場合は、箱や袋から出すこと。
- ・ カバンは、チャック等を閉め、**椅子の下**に置くこと。
- ・ ひざかけの使用は禁止とする。椅子の背もたれには何もかけず、制服の上着、コートはコート掛けにかけること。腕時計を除くミサンガ等、腕に付けるものも禁止とする。
- ・ 机は縦、横まっすぐに並べること。

【問題配布～問題回収】

- ・ 監督の先生が入室したらすぐに持ち物を片付け、上記の試験を受ける準備をすること。また、**私語をしないこと。**
- ・ 問題用紙、解答用紙が配布されたら、学年、組、出席番号、氏名を記入し、裏返しにして待つこと。監督の先生の指示がある場合は、それに従うこと。
- ・ 試験中に必要な物を落とした場合は、**勝手に拾わず**、静かに手を挙げ、監督の先生に申し出ること。
- ・ トイレ等で途中退席が必要な場合は、静かに手を挙げ、監督の先生に申し出ること。用を済ました後は、教室に戻り考査を続けること。
- ・ 不正行為、まぎらわしい行為は絶対しないこと。
- ・ 次のことをする・しているようにみられると「不正行為」となる。その場合、**該当科目は「0点」となり、それ以降の科目および追考査の受験はできない。**

- ・ カンニング(カンニングペーパー、プリントや参考書等の持ち込み、机などへの書き込み、他の人の答案等を見る)をすること。
- ・ 他の人に答えを教えたりカンニングの手助けをしたりすること。
- ・ スマートフォン、ウェアラブル端末などを使用すること。
- ・ スマートフォン、ウェアラブル端末などを(電源の ON、OFF に関わらず)カバンにしまわずに、机の中に入れる・身の回りにおいている(ポケットに入れている)・手に持っていること。
- ・ 問題用紙配布後も、私語を続けること。
- ・ 試験時間終了の合図後に、解答を続けること。

- ・ 試験時間終了後、解答用紙は、**一番うしろの生徒が回収し、監督の先生の確認が終わるまで着席して静かに待つこと。**

【答案返却】

- ・ 答案返却時は、教科担任の先生の指示に従い、不要な物は机の上に出さないこと。何も指示がなくても、赤ペン以外の筆記用具はしまっておくこと。
- ・ 答案返却時などに、解答用紙の内容を改ざんした場合、「不正行為」となり、該当科目は「0点」となる。